

グリーン四国

四国森林管理局

高知市丸ノ内 1 丁目 3-30

TEL 088-821-2052

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

電子メール shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp



四国山の日

No.1097 2011年8月号

准フォレスター研修のスタート

8月1日から高知市の高知県森連会館においてはじまりました。

【詳細は2頁】



森林施業の実行監理演習



森林作業道現地踏査



2011・国際森林年



市町村森林整備計画演習

准フォレスター研修の開催について

〈森林技術センター・指導普及課〉

准フォレスター研修（第一週目）が、八月一日から

大学教授等及び団体職員等です。

高知市の高知県森連会館においてはじまりました。研修には、四国四県の県職員が一五名参加しました。研修の講師は、林野庁職員、四国森林管理局職員、

准フォレスターとは、平成二三年度から始まる新たな森林計画制度の下で、市町村が策定する市町村森林計画や、森林所有者等が策定する森林経営計画の認定・実行監理などを支援する県や国有林の職員です。

四国森林管理局では、これらの准フォレスターを育成するために二三年度に研修（第一週目及び第二週目）を二回実施することとしています。

研修の開講式では、四国森林管理局長の激励の挨拶から始まりました。

研修の内容は、森林・林業再生プランの概要、市町

村森林整備計画の概要、森林のゾーニング（森林の役割区分）と森林施業の考え方、路網と作業システムの講義や、森林施業の実行監理演習、市町村森林整備計画演習などとなつています。

森林施業の実行監理演習では、嶺北森林管理署管内の高知県の町奥南川山国有林を実習フィールドとして、帯状や群状に伐採し、植栽した複層林試験地などを見学し、森林作業道の作設等についても、現地実習を行いました。

また、市町村森林整備計画演習では、本山町の国有林を事例として森林のゾーニングを行う演習を実施しました。フォレスターは、中立的な立場で地域の森林を水源かん養機能などの公益的機能と木材生産機能に区分し、地域の皆さんに説明する

必要があります。

今回の一五名の研修生は、九月五日から九日に開催される研修（第二週目）を受講した後、准フォレスターとして、市町村森林整備計画の策定等の支援業務を行いながら地域の

森林づくりの全体像を描くとともに、市町村が行う行政事務の実行支援を通じて、森林所有者等に対する指導等を行う人材となることが期待されています。

国有林野事業安全週間を終えて

〈職員厚生課〉



安全大会（交通講話）

国有林野事業安全週間の取組みとして、局署等

において職員参加による安全大会を開催するなど、職員一人一人の安全意識を高め、決意を新たに災害の未然防止を誓いました。

局においては、週間の初日に局長と三部長による安全旗の掲揚、週間中には各課輪番制による安全旗の掲揚を行い、安全意識の高揚に努めました

また、七月一日の局の安全大会では、局長より災害の発生状況、労働災害防

止の責務及び交通事故防止の取組等の訓示を受けるとともに、高知警察署岡交通課長より「交通事故の実態等について」と題して講話が行われ、交通事故の発生状況や最近の道交法の改正ポイント、自転車の交通ルールについて説明がありました。また、車載カメラの映像により交通事故の実態が示され職員も熱心に聞き入っていました。

各署等においても工夫を凝らした行事を実施し、安全意識の高揚を図っているところですが、週間中の取組を契機として、「安全第一」を共通の認識として今後の安全活動に取り組んでいただきたいと思います。



緊急安全会議

緊急安全会議の開催について

〈販売課〉

請負事業体の重大災害の発生が三年度連続となったことから、現在事業実行中の事業体を対象に、八月八日、九日の両日、

緊急安全会議を開催しました。

会議においては、重大災害はもとより、一歩間違えば重大災害につながりかねない、転落・転倒等の災害について、その原因・対策等及び留意事項について説明を行いました。

今後においては、類似災害の未然防止を図るため、会議の趣旨を各事業体の現場作業員まで周知徹底を行うなど、発注者・受注者の互いの認識の共有を図り、災害の未然防止に努めることを確認しました。



木工教室

『保育園親子森林教室』の開催

〈指導普及課〉

七月五日、高知県土佐市立山の手保育園において、

あつたものです。

森林教室と木工教室及び木を使ったおもちゃ遊びに、親子一六組が参加しました。これは、前年度、地域の祭り「第六回山の手ふれあいフェスタ」の体験学習コーナーの一つとして四国森林管理局が実施した、木を使ったおもちゃ遊び及び木工教室を園長さんが見学したのがきっかけで依頼が

森林教室では、紙芝居を使って森林の働き等について理解を深めてもらい、木工教室では、木の枝等を使って「無事カエルのネームプレート」を作製しました。園児及び保護者の方は、オリジナルのネームプレートの出来映えに満足した様子でした。

その後、木製の国際森林年ロゴマークパズルや、けん玉ゲームなど、また、木製ゴムてっぽう射的大会を行いました。

今回のイベントは、園児及び保護者に対して森林の働き及び木の良さ、大切さを遊びを通して学んでもらうものであり、また、国有林野事業のPRの良い機会になりました。